

Combi

コンビ チャイルドシート クルムーヴ ロング シリーズ

取扱説明書 **品質保証書付**

お子さまの安全のため、ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくご使用ください。

- 本書はシート背面のフタ内側にある取扱説明書収納ポケットに保管してください。(6ページ参照)
- 品質保証書に、必要事項をご記入ください。

本製品は、UN R129/03において認可されたアイサイズ改良型幼児拘束装置 / アイサイズプースターシート改良型幼児拘束装置です。本製品は車両メーカーによって車両ユーザーマニュアルに記載されている i-Size 適合車両着座位置または ISOFIX 型チャイルドシートの取り付けを認可された座席に取り付けることができます。ただし、ISOFIX 取付金具 (バー) を装備した全ての座席に取り付けられるものではありません。

ジュニアモードでは、UN R16 または、他の同等の基準に基づいて認可された 3 点式シートベルトを装備した車種に限り適しています。ご不明な点がございましたら、当社コンシューマープラザまたは販売店にお問い合わせください。

ご使用の際には、必ず車種適合および車両の取扱説明書を確認してください。

ご使用の向き		お子さまの条件	
チャイルドモード	後向き	身長: 40cm ~ 87cm まで	※体重 18kg を超えるお子さまには使用できません。
	前向き	身長: 76cm かつ月齢 15 カ月以上 ~ 105cm まで	
ジュニアモード	前向き	身長: 100cm ~ 135cm まで	



お使いいただく前に

各部の使いかた

チャイルドモードの使いかた

ジュニアモードの使いかた

お手入れ・その他

⚠危険

お子さまの月齢が 15 カ月、かつ身長が 76cm を超えるまでは、前向きで使用しないでください。

⚠注意

お子さまの負担を考え、長時間連続しての使用を避け、1 時間程度を目安に休憩をとってください。

もくじ

お使いいただく前に

お使いいただく前に……………	2
各部のなまえ……………	3
ご使用の条件……………	7
取り付けできる座席……………	9
車両シートベルトの種類と使用上の注意 (シートベルト使用時)……………	10
取り付けできない座席……………	11
安全にお使いいただくために……………	13

各部の使いかた

リクライニングのしかた……………	21
回転のしかた……………	23

チャイルドモードの使いかた

取り付け準備……………	27
車への取り付けかた……………	29
取り付け完了チェックのしかた……………	33
車からの取りはずしかた……………	34
1 幼児肩ベルト位置の調節のしかた……………	36

お子さまの座らせかた……………	39
お子さまの降ろしかた……………	42

ジュニアモードの使いかた

ジュニアモードへの変更のしかた……………	43
取り付け準備……………	48
車への取り付けかた……………	49
お子さまの座らせかた……………	53
取り付け完了チェックのしかた……………	55
チャイルドモードへの戻しかた……………	56

お手入れ・その他

インナークッションの使いかた……………	57
ベースカバーの使いかた……………	59
幌の使いかた……………	60
カバーの取りはずしかた・取り付けかた……………	63
お手入れのしかた……………	65
保管・廃棄のしかた……………	66
品質保証書……………	67
お問い合わせ先……………	裏表紙

お使いいただく前に

このたびは、コンビ チャイルドシートをお買い上げいただき、ありがとうございます。お子さまの安全のため、ご使用前に必ず本書を読み、十分ご理解の上、正しくご使用ください。





〈中古品のご使用について〉

- 使用履歴が不明な製品、特に事故歴の不明な製品は絶対に使用しないでください。
- ひび割れや大きな傷、止め金具のゆるみなどがある場合は、絶対に使用しないでください。衝突事故や製品の落下などにより強い衝撃が加わった可能性があります。

チャイルドシートは、交通事故などの場合にお子さまの傷害を軽減することを目的としており、必ずしも事故からお子さまを無傷で守るものではありません。また、チャイルドシートを使用するときは、必ず保護者のかたが同乗してください。

●表示について

本書では、安全に正しくご使用いただくため重要な事項を「危険」、「警告」、「注意」の表示で説明しております。重要事項が守られなかった場合に予想される、危害・損害の切迫度や大きさにより区分したもので、大変重要な内容です。必ずお守りください。

表 示	表示の内容
 危険	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容です。
 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が起こる可能性が想定される内容です。
 ワンポイント	チャイルドシートをご使用いただく上で知っておいていただきたいこと、および知っておくと便利な内容です。

各部のなまえ

ご使用前に、各部品がそろっていることをご確認ください。

●ご使用前に「品質保証書」に次の項目を記入してください。

①製品名とロットNo. (シート背面のフタ内側に貼ってあるシールに記載されています)

②お客様のお名前・ご住所・電話番号

③販売店名

●レシート(領収書)を本書といっしょに保管してください。

※本書に使用しているイラストは、操作方法などをわかりやすく説明するため、製品とは若干異なる場合があります。

※シートカバー・インナークッション・幌・肩ベルトカバーなどは製品により仕様が異なる場合があります。また、製品の仕様は改善などのため、予告なく変更することがあります。

梱包内容

●本体



●肩ベルトカバー

●ISOFIX キャップ



●インナークッション

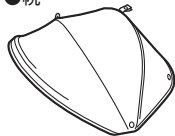


●ベースカバー

「後向き」時に使用します。



●幌



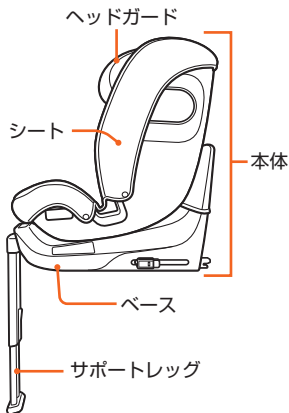
●取扱説明書(本書)



●お客様登録カード



本書で使われる「本体」「シート」「ベース」「ヘッドガード」とは、下記の部位をいいます。



正面

股ベルトカバー

差込タンク

バックル

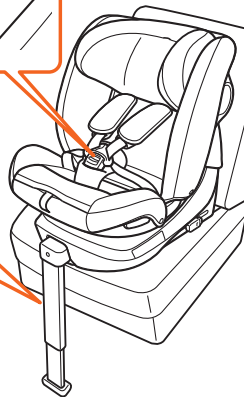
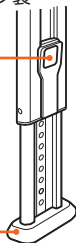
バックルボタン



サポートレッグ裏

ロック解除
ボタン

レッグエンド

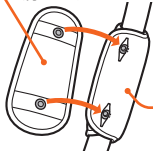


各部のなまえ

正面

ヘッドガードカバー

肩ベルトカバー



肩ベルトカバー
ベース

ベルト調節ボタン
調節ベルト



ヘッド
ガード
調節レバー

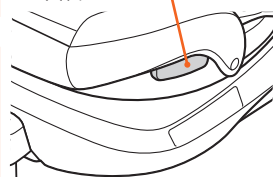
ヘッドガード裏



シートカバー

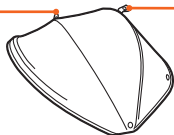
幼児ベルト

回転レバー



幌

前向き用
ベルト通し穴

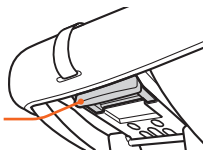


ベルトホック

※製品仕様により、形状が異なります。

座面裏

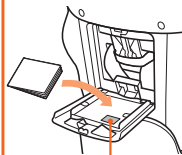
リクライニング
レバー



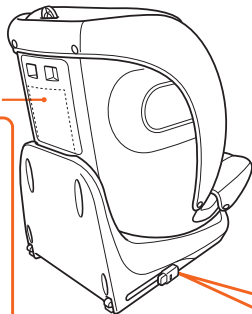
背面

取扱説明書収納ポケット

※シート背面のフタを開けて内側に収納する

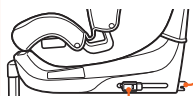


製品名 / ロット No.



側面

コネクター



コネクター解除レバー






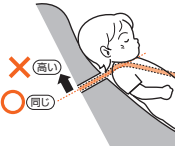
インジケータ
(緑:ロック)






インジケータ
(赤:ロック解除)

ご使用の条件

ここでは、お子さまの身長によるシートの向き、インナークッションの使用条件などを説明しています。

後向き（進行方向に対して後向きに取り付け）	
お子さまの条件	インナークッションの使用条件
<p>身長40cm → 身長87cmまで または体重18kgまで</p> 	<p>使用する → 使用しない</p> <p>身長 40cm ~ 60cm 以下 → 身長 61cm 以上</p>  <p>※インナークッションは製品により仕様が変わる場合があります。 ※製品の仕様は改善などのため、予告なく変更することがあります。</p>
<p>⚠ 危険</p> <p>お子さまの月齢が15ヵ月、かつ身長が76cmを超えるまでは、前向きで使用しないでください。</p> <p>ワンポイント</p> <p>お子さまの足が車両背もたれにあたるなど、後向きでの使用が体格に合わないと感じた場合は、前向きで使用してください。</p>	<p>⚠ 警告</p> <p>必ずインナークッションを正しく取り付けて、お子さまの体にフィットした状態で使用してください。</p> 
	<p>幼児肩ベルトの位置について</p> <p>インナークッションの使用有無に関わらず、幼児用肩ベルトの高さがお子さまの肩と同じくらいの位置になるように調節してください。</p> 

前向き（進行方向に対して前向きに取り付け）	
お子さまの条件	インナークッションの使用条件
<p>チャイルドモード</p> <p>月齢15か月 かつ身長76cm以上</p> <p>↓</p> <p>身長105cm または体重18kgまで</p> 	<p>使用禁止</p>
	<p>幼児ベルトの位置について</p> <p>幼児用肩ベルトの高さがお子さまの肩と同じくらいの位置になるように調節してください。</p> 
<p>ジュニアモード</p> <p>身長100cm以上</p> <p>↓</p> <p>身長135cmまで</p> 	<p>⚠ 危険</p> <p>お子さまが下記の条件を満たしていない場合は使用しないでください。 【チャイルドモード】 月齢15か月かつ、身長76cm以上～身長105cmまで（※体重18kgを超えるお子さまは、使用できません。） 【ジュニアモード】 身長100cm～135cmまで</p>

取り付けできる座席

ISOFIX型チャイルドシートの取り付けを認可された座席に取り付けることができます。

ただし、ISOFIX取付金具(バー)を装備した全ての車両に取り付けられるものではありません。

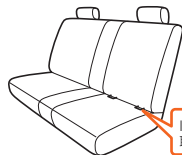
ご使用の際には、必ず車種適合および車両の取扱説明書で下記のISOFIXサイズクラスに適合しているか確認してください。

車種適合につきましては下記のサイトにてご確認ください。

www.combi.co.jp/childseat/seat_search/



ISOFIX 取付金具とは、ISOFIX チャイルドシートを取り付けるために、車両背もたれと車両座面の間に装備された金具(バー)です。車両により、名称や位置が異なる場合がありますので、必ず車両の取扱説明書で確認してください。



ISOFIX
取付金具

本製品のISOFIXサイズクラス

ご使用の向き		お子さまの条件		固定具
チャイルドモード	後向き	身長：40cm～87cmまで	※体重18kgを超えるお子さまには使用できません。	R2
	前向き	身長：76cmかつ月齢15カ月以上～105cmまで		F2X
ジュニアモード	前向き	身長：100cm～135cmまで		B2

※後向きでヘッドガードの位置を高くしたときに、前座席にあたる場合があります。その場合は、前座席の位置を調整してください。



警告

ご使用の際は、車両の取扱説明書を確認してください。

車両シートベルトの種類と使用上の注意（シートベルト使用時）

ジュニアモード（身長：100cm～135cm）で使用する場合

チャイルドシートは、シートベルトの種類により取り付けかたが異なったり、取り付けられない場合があります。

本製品はUN R16 または、他の同等の基準に基づいて認可された3点式シートベルトを装備した車種に限り使用するのに適しています。

⚠
危険

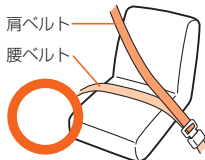
- 必ず3点式シートベルトの座席に取り付けてください。
- 2点式シートベルトの座席では絶対に使用しないでください。本来の機能を果たさず、大変危険です。

2点式シートベルトとは



図のように、肩ベルトがなく、腰ベルトの左右2点で体を支えるシートベルトのこと。

3点式シートベルトとは



図のように、腰ベルトの左右と肩ベルトの3点で体を支えるシートベルトのこと。

シートベルトの種類と特徴（見分けかた）		取り付け注意点
ELR	ゆっくり引くと自由に出入りし、勢いよく引くとロックする。	ゆっくりとシートベルトを引き出して取り付けください。
AELR	シートベルトを全て引き出した後で巻き戻すとチャイルドシート固定機能がはたらき、それ以上伸びなくなる。（シートベルトを全て巻き戻すと解除される）	シートベルトを全て引き出すと危険です。シートベルトを1度戻して、チャイルドシート固定機能を解除してから取り付けてください。
その他	上記に当てはまらないシートベルト。	使用できません。

※ シートベルトの種類が不明な場合は、各自動車メーカーにお問い合わせください。

取り付けできない座席

次の条件のいずれか1つでもあてはまる場合は、その座席ではお使いいただけません。

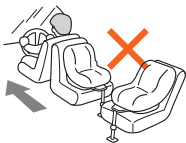
下記以外の座席でも、チャイルドシートをしっかりと固定できない場合には使用しないでください。

※チャイルドモードでの使用時のみ

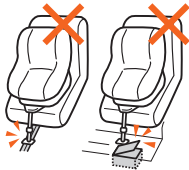
- ISOFIX取付金具(バー)が
装備されていない座席。



- 進行方向に対して横向き、または後向き



- サポートレッグの先端部に座席の
スライドレールや床下収納スペースなどがある座席。



- フロントエアバッグ装備の座席。
…サイドエアバッグのみには使用できます。



- 座面の凹凸が極端で、
取り付けたときに不安定になる座席。



- 床に対して座面が低い座席または高い座席、床の形状などにより、サポートレッグを正しく設置できない座席。



※ジュニアモードでの使用時のみ

- 車両シートベルトの付いていない座席。



※ジュニアモードでの使用時のみ

- 2点式シートベルトの座席。



※ジュニアモードでの使用時のみ

- 車両シートベルトの長さが極端に短い座席。



※ジュニアモードでの使用時のみ

- パッシブシートベルトの付いた座席。

…車両座席に座ってドアを閉めると、自動的に車両シートベルトを装着してくれる装置のこと。(オートマチックシートベルト)



※ジュニアモードでの使用時のみ

- 車両シートベルトが座席の中間から出ている座席。

…チャイルドシートの腰部ベルトガイドの位置よりも、前方向からシートベルトが出ている座席。



安全にお使いいただくために

⚠危険

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容です。

- 使用条件に**適合しないお子さま**や、**取り付けできない座席**などでは、使用しないでください。



- 取扱説明書および本体表示の説明以外の方法で取り付けしないでください。



- チャイルドモードで使用の場合、**車両シートベルトで固定することはできません。**

- フロントエアバッグ装備の座席では、**使用しないでください。**衝突時、エアバッグの作動により大きな衝撃を受け、危険です。

- ジュニアモードで使用の場合、**お子さまを座らせたとき、車両シートベルトの差込金具が車両バックルに正しく差し込まれており、はずれないことを確認してください。**



⚠ 危険

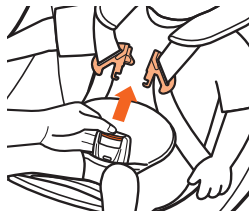
- お子さまがチャイルドシートの上に立ったり、中腰、正座をしないように注意してください。



- チャイルドシートのシートが車両ヘッドレストにぶつかってリクライニングや回転の操作ができない、またはロックできない場合があります。車両ヘッドレストが取りはずせる場合は取りはずし、取りはずせない場合は他の座席に取り付けてください。

⚠ 緊急時の脱出

事故など緊急時は、保護者のかたがバックルボタンを押し、幼児ベルトをはずして、(ジュニアモードで使用の場合は車両シートベルトをはずして)すみやかにお子さまを車外に脱出させてください。



安全にお使いいただくために

⚠警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です

- 衝突事故や製品を落下させたときなど、1度でも強い衝撃を受けたチャイルドシートは、外見上の破損がなくても、絶対に使用しないでください。



- お子さまを車内に1人で放置しないでください。日差しが強い日などには、車内の温度が高くなり、お子さまが脱水症状になるおそれがあります。また予期せぬ事故の原因となります。必ず保護者のかたが同乗してください。



- 製品の改造や不当な修理をしないでください。



- お子さまが座っていないときでも、コネクター(チャイルドモード使用時)または車両シートベルト(ジュニアモード使用時)で固定しておいてください。急ブレーキをかけたときなど、車内に転がり、運転の妨げとなることがあります。



- 緊急時に同乗者の脱出のさまたげになる座席には、チャイルドシートを取り付けしないでください。



- チャイルドモードで使用の場合、幼児ベルトがたるんだ状態で使用しないでください。ベルトが首に巻き付き、窒息するおそれがあります。



警告

- チャイルドモードで使用の場合、調節ベルトがシートカバーに固定されていない状態で使用しないでください。ベルトが首に巻き付き、窒息するおそれがあります。



- チャイルドモードで使用の場合、お子さまがバックルボタンを押してしまう可能性があります。タンクがバックルからはずれていないことを確認してください。はずれていると本来の働きをせずさらにベルトが首に巻き付くおそれもあります。



- チャイルドモードで使用の場合、バックルにゴミ・飲食物などが詰まって確実に差し込めない場合、または解除しにくい場合は修理の必要がありますので、当社のコンシューマープラザへお問い合わせください。



- チャイルドモードで使用の場合、幼児ベルトに傷がついたときは、ご使用にならないでください。修理の必要がありますので、当社のコンシューマープラザへお問い合わせください。



- ジュニアモードで使用の場合、車両シートベルトに傷がある場合は、その座席に取り付けられないでください。



- ジュニアモードで使用の場合、チャイルドシート固定機能付きシートベルトのときは、固定機能を働かせないでください。お子さまが締め付けられ、胸が圧迫されます。



安全にお使いいただくために

⚠️ 注意

誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が起こる可能性が想定される内容です

- チャイルドシートを車両のシート可動部やドアにはさまないように、十分注意してください。



- 直射日光があたると、本体や差込タンクなどが熱くなり、お子さまがヤケドをするおそれがあります。お子さまを乗せる前に各部を触り、熱くないことを確認してから使用してください。



- 固定されていない物を車内に置く場合は急ブレーキや衝突時にお子さまにあたるおそれがありますので、十分注意してください。

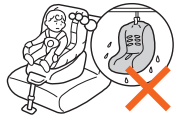


- 走行中は、チャイルドシートの操作や調節をしないでください。また、同乗している他のお子さまがチャイルドシートに触らないようにしてください。

- チャイルドシートを通常のいすとして使用すると、転倒しけがをするおそれがあります。本書に記載されていない使用かたをしないでください。



- シートカバーなどの縫製品や、ウレタンなどのクッション材をはずしたまま使用しないでください。また、本製品以外のものと取り替えたりしないでください。(衝突時の安全性能に影響を与えるおそれがあります)



- 拘束や調節操作をする際、爪や付け爪が巻き込まれる可能性がありますので、十分注意してください。



- 座席の表皮素材(革など)や形状によっては、座席に傷や跡がつくおそれがあります。

- お子さまを乗せた状態で、取り付け・取りはずし・持ち運びはしないでください。

⚠ 注意

- 車両座席に、クッションや座布団などを敷いたまま、チャイルドシートを取り付けないでください。チャイルドシートがしっかり固定されません。



- チャイルドシートを風雨にさらさないでください。
- 幼児ベルトを持ってチャイルドシートを持ち運びしないでください。

⚠️ 日常の点検

チャイルドシートの本来の機能を果たすため、走行前には、次の事項を点検してください。

●チャイルドモード

チャイルドシートが**車両座席にしっかりと固定されていること**（ベースを前後左右にゆすり、確認してください）

幼児ベルトがお子さまの体に**フィットしていること**（調節ベルトを引いてフィットさせてください）

差込タングがしっかりとバックルに差し込まれていること

回転/リクライニングのレバーが正規の位置に戻っていて、シートが確実に固定されていること

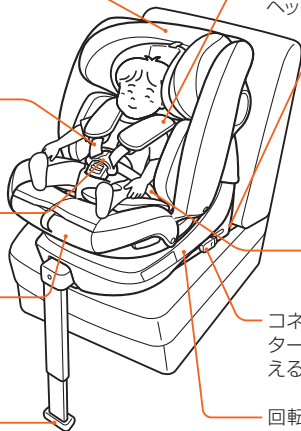
レッグエンドが床につくように、サポートレッグの長さが調節されていること

幼児ベルトが正しい位置になるようにヘッドガードが調節されていること

コネクターが車両のISOFIX取付金具にしっかりと固定されていること

⚠️ 警告

- 幼児ベルトに**ねじれやたるみがないこと。**
- お子さまの骨盤をしっかりと拘束するように、必ず**幼児腰ベルトを低く下げる**こと。



※イラストはチャイルドモード前向き使用例

コネクター解除レバーのインジケーターがロック状態（緑色の表示が見える状態）になっていること

回転/リクライニング操作後、シートがロックされ確実に後向きまたは前向きになっていること

⚠ 日常の点検

チャイルドシートの本来の機能を果たすため、走行前には、次の事項を点検してください。

●ジュニアモード

※50ページ車両の固定方法Aで取り付ける場合。

車両シートベルトが肩部ベルトガイドを通り、
お子さまの首を圧迫していないこと。
また、肩からはずれていないこと。

チャイルドシートが車両座席に
しっかりと固定されていること
(ベースを前後左右にゆすり、
確認してください)

コネクターが車両の
ISOFIX取付金具にしっ
かり固定されていること

コネクター解除レバーのインジケー
ターがロック状態(緑色の表示が見
える状態)になっていること

車両シートベルトの差込金具が車
両バックルに確実に差し込まれて
おり、はずれないこと。

- 警告**

 - 車両シートベルトがお
子さまの体に密着して
いてねじれやたるみ
がないこと。
 - 車両シートベルトがお
子さまの骨盤を押さ
えていること。

サポートレッグが収納されてい
ること

回転/リクライニングのレバーが
正規の位置に戻っていて、シート
が確実に前向きに固定されている
こと



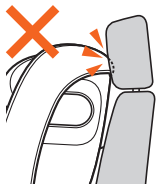
リクライニングのしかた

「後向き」および「前向き」使用時、お子さまの体重に関わらず、5段階に角度を調節することができます。

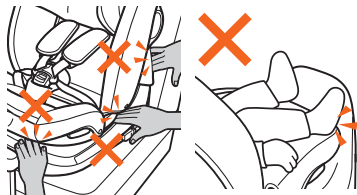


チャイルドシートのシートが車両ヘッドレストにぶつかってリクライニング操作ができない場合があります。

- 無理に操作すると故障の原因になります。車両ヘッドレストが取りはずせる場合は、取りはずしてご使用ください。
 - 車両ヘッドレストをはずしても操作ができない場合、その座席では使用しないでください。
- ※ ぶつかっていても無理なく操作できる場合は、その座席でもお使いいただけます。



- シートの背部やリクライニングの下部のすき間に指や手などを入れたまま、リクライニング操作をしないでください。
- 「後向き」使用時、リクライニング操作の際にお子さまの足が本体とベースのすき間にはさまらないように注意して行ってください。
- 同乗者の手元にも十分ご注意ください。
- リクライニング操作は、必ず車を停車させて行ってください。
- リクライニングおよびベースのすき間にゴミや飲食物などの異物が入ると故障の原因になりますのでご注意ください。回転およびリクライニング操作を行う際、動作不良が生じた場合は当社コンシューマープラザまでお問い合わせください。



お子さまの様子にあわせて、5段階に角度を調節することができます。

- 1** ① 本体シート下にあるリクライニングレバーを手前に引きながら、
② シートのリクライニング角度を調節する。
(前向き/後向きともに5段階)
- 2** レバーから指を離してシートを前後左右にゆすり、ロックされていることを確認する。

①



注意

- リクライニング操作時は、お子さまの手や指などを近づけないでください。また、同乗者の手元にも十分ご注意ください。手や指などがはさまれ、けがをするおそれがあります。
- ゴミや飲食物などが入ると故障の原因になりますのでご注意ください。



警告

操作後、リクライニングレバーが元の位置に戻り、シートが固定されていることを確認してください。(衝突時の安全性能に影響を与えるおそれがあります)

回転のしかた

どのリクライニングの角度でも、お子さまの乗せ降ろしをしやすいするため、シートを回転することができます。

操作後にシートを「後向き」または「前向き」に戻し「カチッ」と音がしてロックされていることを確認してください。



危険

お子さまを乗せた状態で、シートを横向きにしたまま走行しないでください。横向きでは、本来の機能を果たさず危険です。



警告

操作後に、「カチッ」と音がしてシートが元の位置に戻り、ロックされていることを確認してください。シートがロックされていない状態で使用しないでください。

ワンポイント



車両に当たり回転できない場合は、ヘッドガードの高さを調節して回転操作を行ってください。
(ヘッドガードの高さの調節のしかたは38ページの手順2参照)



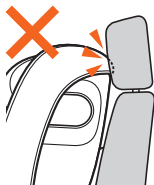
警告

シートが車両ヘッドレストにぶつかって回転操作ができない場合があります。

●無理に操作すると故障の原因になります。車両ヘッドレストが取りはずせる場合は、取りはずしてご使用ください。

●車両ヘッドレストをはずしても操作ができない場合、その座席では使用しないでください。

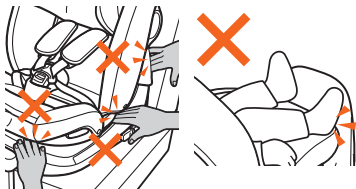
※ぶつかっていても無理なく操作できる場合は、その座席でもお使いいただけます。



お子さまの乗せ降ろしをしやすいするため、シートを回転することができます。

- ベース背面やシートの背面、リクライニングの下部のすき間に指や手などを入れたまま、回転操作をしないでください。
- お子さまを乗せた状態のときは、ゆっくりと回転させ、お子さまの手足が本体などにぶつからないよう、また、ベースとシートの間などにはさまれないようご注意ください。
- 「後向き」使用時、回転操作の際にお子さまの足が本体とベースのすき間にはさまらないように注意して行ってください。
- リクライニングおよびベースのすき間にゴミや飲食物などの異物が入ると故障の原因になりますのでご注意ください。回転およびリクライニング操作を行う際、動作不良が生じた場合は当社コンシューマーブラザまでお問い合わせください。

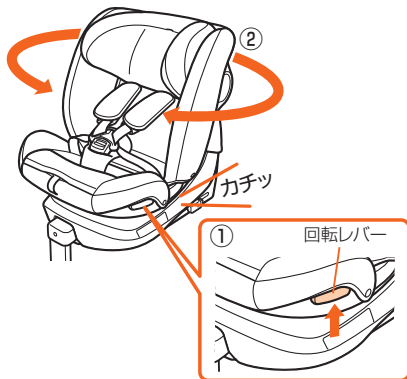

注意



回転のしかた

お子さまの乗せ降ろしをしやすくするため、シートを回転することができます。

- ①シート横側にある回転レバーを押しながら、シートをまわす。
- ②動き始めたら回転レバーから指を離し、シートが「後向き」または「前向き」になると、「カチッ」と音がしてロックする。



危険

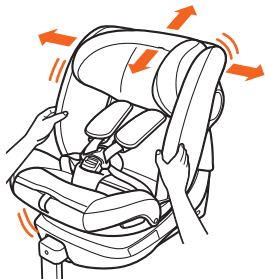
- お子さまを乗せた状態で、シートを横向きにしたまま走行しないでください。横向きでは、本来の機能を果たさず危険です。
- 走行中は回転操作をしないでください。

注意

- 回転操作時は、お子さまの手や指などを近づけないでください。また、同乗者の手元にも十分ご注意ください。手や指などがはさまれ、けがをするおそれがあります。
- ゴミや飲食物などが入ると故障の原因になりますのでご注意ください。

2 シートを前後左右に動かし、確実にロックされていることを確認する。

※回転構造上シートに遊びがあり、カタカタと音がしますが、問題なく使用できます。



警告

操作後に、「カチッ」と音がしてシートが元の位置に戻り、ロックされていることを確認してください。(衝突時の安全性能に影響を与えるおそれがあります)

取り付け準備



- 取扱説明書および本体表示の説明以外の方法で取り付けしないでください。
- チャイルドモード使用時は車両シートベルトで固定することはできません。
- フロントエアバッグ装備の座席では、チャイルドシートを使用しないでください。衝突時、エアバッグの作動により大きな衝撃を受け、危険です。
- チャイルドモード使用時はサポートレッグを収納状態のまま、取り付けしないでください。

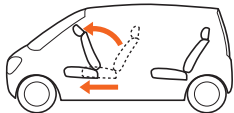
下記のサイトにて取扱説明動画を提供しておりますので、ご確認ください。
www.combi.co.jp/soudan/after/manual_dvd.html



- 1** ①取り付け作業は、ドアの全開操作が可能な、平らな場所で行う。

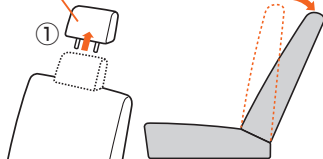


- ②車内の作業スペースを確保するため、前座席を倒したり、スライドさせてから取り付ける。



- 2** ①車両ヘッドレストが取りはずせる場合は、取りはずす。
※取りはずした車両ヘッドレストはトランクルームやカーゴルームに保管すること。
②車両背もたれがリクライニングできる場合は、少し後方に倒す。

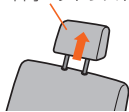
車両ヘッドレスト



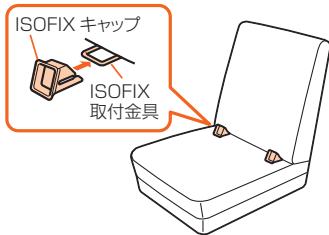
ワンポイント

- 📌 車両ヘッドレストが取りはずせない場合は、1番上まで上げてください。

車両ヘッドレスト

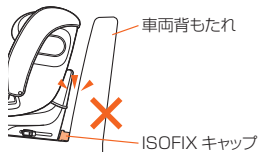


3 ISOFIXキャップをISOFIX取付金具に差し込む。



ワンポイント

ISOFIX 取付金具が車両シートにかくれて見えにくい場合は、付属のISOFIX キャップを使うことで、チャイルドシートを取り付けしやすくなります。ただし、車両シートによっては取り付けるとベース背面と車両背もたれのすき間が大きくなる場合があります。このような場合は、使用せずに取り付けてください。



ワンポイント

チャイルドモードの際、シートは後向きと前向きの2通りの使用方法がありますが、車への取り付けかたは同じです。



車への取り付けかた

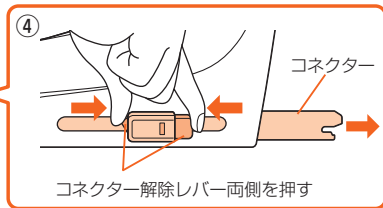
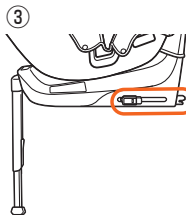
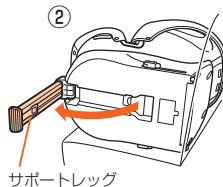
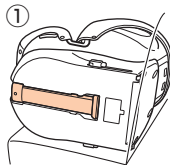
車両の取扱説明書でISOFIX取付金具の装備された座席と金具の位置を確認してください。
本製品は、後向きと前向きの2通りの使用方法がありますが、取り付けかたは同じです。

※ベースカバーを取り付けてから、チャイルドシートを車両座席に取り付けてください。(59ページ参照)

- 1**
- ①車両ヘッドレストが取りはずせる場合は取りはずし、(27ページ手順2参照)
 - ②車両背もたれがリクライニングできる場合は、できるだけすき間が小さくなるよう、リクライニング角度を調整してください。



- 2**
- ①作業スペースを十分に確保し、本体を横に寝かせる。
 - ②サポートレッグを手前に引き出し、ベースからはずす。
 - ③本体を起こし
 - ④本体側面のコネクター解除レバー両側を押しながら、左右のコネクターを最大まで引き出す。

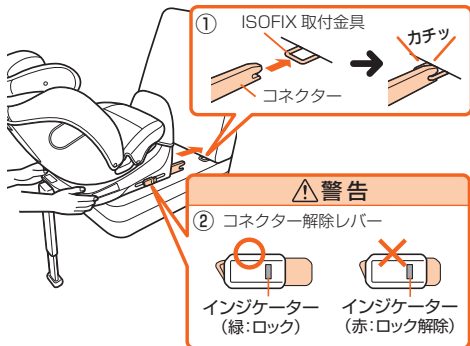


チャイルドモードでは、サポートレッグを必ず引き出してください。



サポートレッグ操作時は、手、指などをはさまないように注意してください。思わぬ重傷を負う可能性があります。

- 3** ①左右のコネクターを車両のISOFIX金具に「カチッ」と音がするまで差し込む。
②左右のコネクター解除レバーのインジケーターが「緑色」になっていることを確認する。



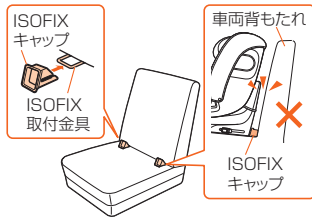
ポイント



ISOFIX 取付金具が車両シートにカクくて見えにくい場合は、付属の ISOFIX キャップを使うことで、チャイルドシートを取り付けしやすくなります。ただし、車両シートによっては ISOFIX キャップを取り付けると本体背面と車両背もたれのすき間が大きくなる場合があります。このような場合は、ISOFIX キャップを使用せずに取り付けてください。

取付方法

ISOFIX キャップの溝に ISOFIX 取付金具がはまるように差し込む。



車への取り付けかた

4 ベース背面が車両背もたれに接するよう、左右片側ずつ調節する。

①ベース側面を持ち、ベース背面が車両背もたれに接し「カチッ」と音がするまで押し込む。

反対側も同様に押し込み、左右均等に車両背もたれに接するよう調節する。

②再度コネクタ解除レバーのインジケーターが「緑色」になっていることを確認する。



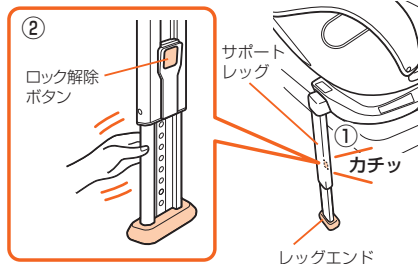
ワンポイント

車両によっては、しっかり押し込んでベース背面と車両背もたれとの間にすき間が生じる場合があります。車両背もたれがリクライニングできる場合はできるだけすき間が小さくなるよう、リクライニング角度を調節してください。

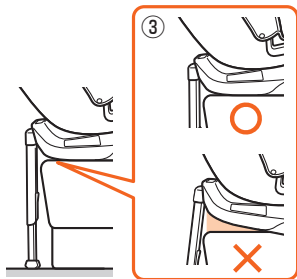
5 ①サポートレッグ裏側にあるロック解除ボタンを押しながらレッグエンドを車両の床まで伸ばす。

ロック解除ボタンが「カチッ」と音がしてロックされたことを確認する。

②実際に手で上下に動かしレッグエンドが縮まずに確実にロックされていることを確認する。



- ③サポートレッグの長さが長すぎて、本体が車両シートから浮いてすき間が発生していないか確認する。



⚠危険

- 調整後は、サポートレッグのレッグエンドが必ず床についていることを確認してください。
- サポートレッグはしっかり引き出した状態で床につけてください。



ワンポイント



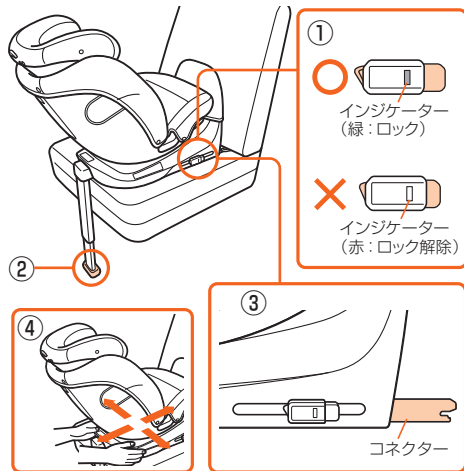
レッグエンドを床まで伸ばしたとき、ロック解除ボタンから「カチッ」と音がせずロックされなかった場合には、レッグエンドを下に伸ばし最初に「カチッ」と音がしてロックした位置でご使用ください。

取り付け完了チェックのしかた

取り付けが終わったら、正しく取り付けられているか次のことを確認してください。

- ①コネクター解除レバーのインジケーターが「緑色」になっていること。
- ②サポートレッグのレッグエンドが車両の床につくように長さが調節されていること。
- ③コネクターの長さが左右同じ長さであることを確認する。
- ④ベースを持ち、前後左右にゆすり、しっかり取り付けられていることを確認する。
- ⑤ベース背面が左右均等に車両背もたれに接しておらず、極端に進行方向に斜めに取り付けられていないか確認する。左右不均衡であったり、斜めに取り付けられている場合は、左右均等に車両背もたれに接するよう調節し、進行方向に対してまっすぐになるように調節する。

ご不明な点は、当社コンシューマープラザへお問い合わせください。



ワンポイント

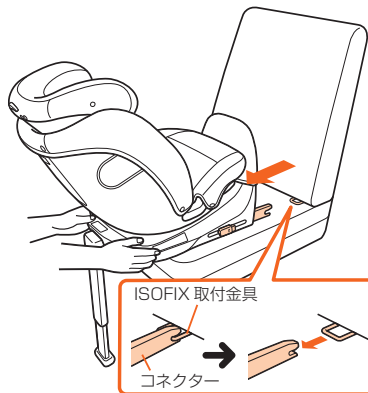
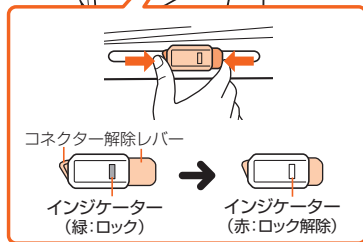
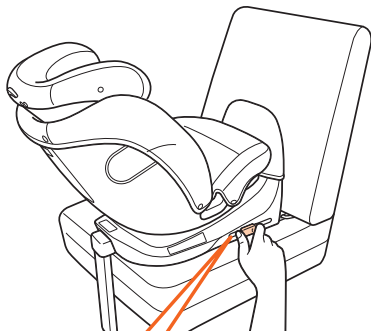
- ① 車両によってはシートのひじかけなどがインジケーターを隠し、目視での確認が困難な場合があります。その際は、ISOFIX 取付金具へコネクターを差し込み時に左右のコネクターが「カチッ」と音がするまで差し込まれたことを確認してください。その際にベースを持ち前方向に引っ張り、ベースが動かす左右差による斜め取り付けがなく、しっかり取り付けられていることを確認した後に、②③の完了チェックを行ってください。

車からの取りはずしかた



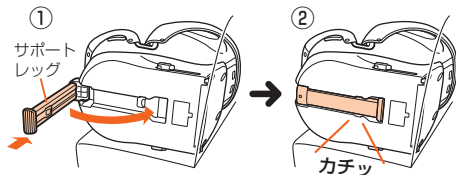
1 左右のコネクター解除レバーを押し、インジケータがロック解除(「赤色」の表示が見える状態)になっていることを確認する。

2 ISOFIX取付金具からコネクターをはずす。



車からの取りはずしかた

- 3** サポートレッグを収納する。
- ①作業スペースを十分に確保し本体を横に寝かせる。
サポートレッグを最短まで押し込み、折りたたむ。
 - ②ベースにサポートレッグが「カチッ」と音がするまで押し込み、収納する。



警告

サポートレッグ操作時は、手、指などをはさまないように注意してください。思わぬ重傷を負う可能性があります。

幼児肩ベルト位置の調節のしかた

お子さまの成長にあわせ、幼児肩ベルトの位置を変えて使用します。幼児肩ベルトの位置は、11段階に調節することができます。

幼児肩ベルト位置の目安

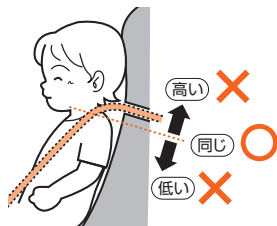
●後向き使用時

インナークッションの使用有無に関わらず、幼児用肩ベルトの高さがお子さまの肩と同じくらいの位置になるように調節してください。



●前向き使用時


幼児用肩ベルトの高さがお子さまの肩と同じくらいの位置になるように調節してください。

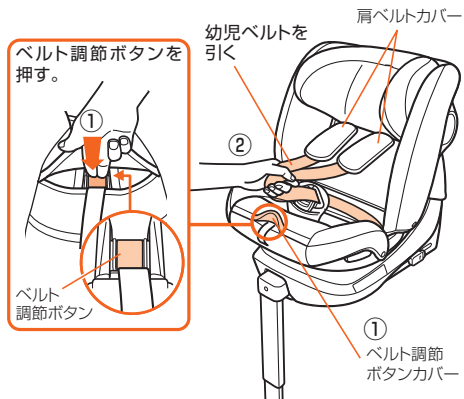


幼児肩ベルト位置の調節のしかた

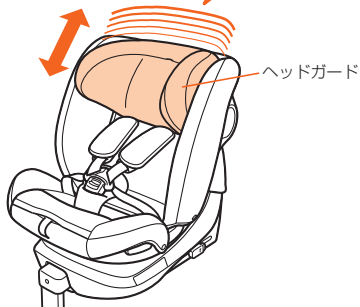
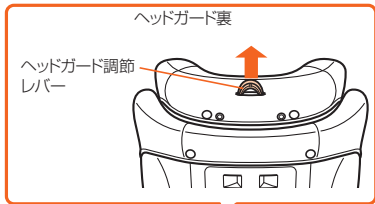
- 1 ①ベルト調節ボタンカバーをめくり、ベルト調節ボタン奥側を押しながら、
②左右の幼児ベルトの両方を持ち、手前に引きゆるめる。
※肩ベルトカバーを引いても、幼児ベルトはゆるみません。

ワンポイント

-  幼児ベルトが引き出しにくい場合はベルト調節ボタン奥側を押しながら、片側ずつ強く引いてください。



- 2** ①ヘッドガード調節レバーを引きながら、適切な位置にヘッドガードの高さを調節する。
 ②ヘッドガードを上下に動かし、固定されていることを確認する。

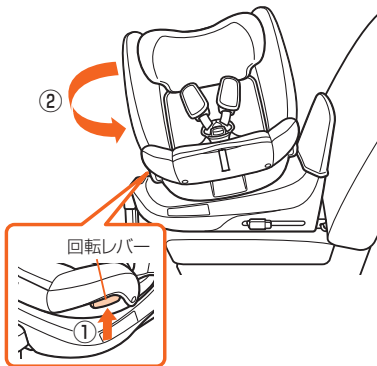


警告

幼児肩ベルト位置（ヘッドガードの高さ）を調節すると、幼児ベルトが締まったり、ゆるんだりします。
 お子さまを幼児ベルトで拘束した後は、幼児肩ベルト位置（ヘッドガードの高さ）を調節しないでください。

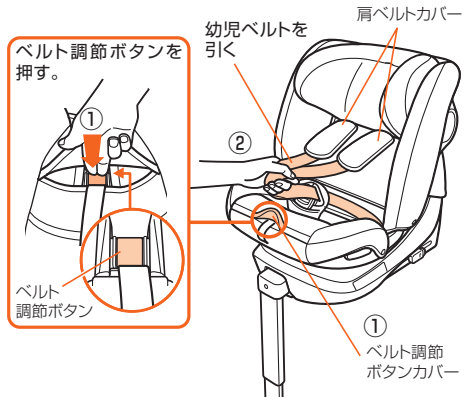
お子さまの座らせかた

- 1** お子さまを乗せやすくするため、
①シート横の回転レバーを押し上げながら、
②シート正面をドア側にまわす。
※以降の手順では前向き状態で説明しています。



お子さまを乗せた状態で、シートを横向きにしたまま走行しないでください。横向きでは、本来の機能を果たさず危険です。

- 2** ①ベルト調節ボタンカバー下のベルト調節ボタン奥側を押しながら、
②左右の幼児ベルトの両方を持ち、手前に引きゆるめる。
※肩ベルトカバーを引いても、幼児ベルトはゆるみません。



- 3 ①バックルボタンを押し、差込タンクをバックルからはずす。
 ②お子さまを深く座らせて、左右の腕を幼児ベルトに通す。
 ③左右の幼児ベルトがねじれていないか確認する。

インナークッション使用の場合には、以下にご注意ください。

- ② お子さまを深く座らせてください。幼児ベルトなど正しい装着がしやすくなります。



- ③ 左右の幼児ベルトがねじれていないこと



ワンポイント

シート正面をドア側に回転させた状態でもリクライニングの操作ができます。

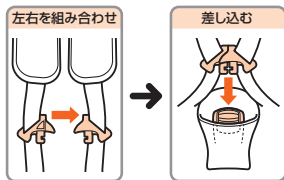


- お子さまを乗せるときは、厚手の上着は脱がせてください。しっかりと拘束出来ない場合があります。
- おくるみなど、両足が分かれられない衣類の着用はおやめください。
- お子さまをタオルなどでくるんだまま、座らせないでください。
- お子さまを座らせるときには、右図のような座らせかたをしないでください。チャイルドシートが本来の機能を果たさず、危険をまねくおそれがあります。



お子さまの座らせかた

- 4 左右のタングを組み合わせ、「カチッ」と音がするまで、バックルに差し込む。



チャイルドシートの差込タングがしっかりバックルに差し込まれていることを確認してください。

ワンポイント



- バックルのボタンは、お子さまの力でははずれないように固くしてあります。
- 左右の差込タングを組み合わせないと、バックルに差し込めません。

- 5 ①幼児腰ベルトは、骨盤をしっかりと拘束するように、低く下げる。
②幼児肩ベルトは、必ず肩の中央に十分かかるようにする。
③調節ベルトを手前に引き、
④お子さまと幼児ベルトの間に、大人の手のひらが入る程度に幼児ベルトの長さを調節する。

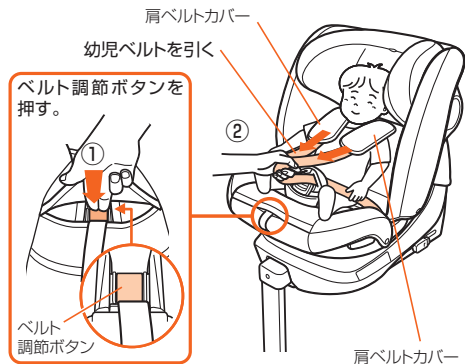


必ず幼児ベルトの長さをねじれやたるみがないように調節してください。お子さまの体にフィットしていないと、衝突時にお子さまが飛び出したり、ベルトが首に巻き付き窒息するおそれがあります。

- 6 シートを後向き、または前向きにまわす。

お子さまの降ろしかた

- ①ベルト調節ボタン（奥側）を押しながら、
 - ②左右の幼児ベルトの両方を持ち、手前に引きゆるめる。
- ※肩ベルトカバーを引いても、幼児ベルトはゆるみません。



- ③バックルボタンを押し、差込タンクをバックルからはずす。



- ④お子さまを降ろす。

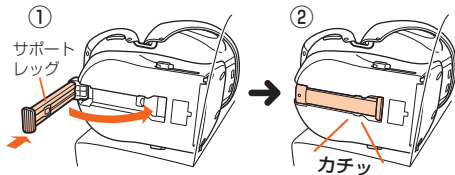
ジュニアモードへの変更のしかた

ジュニアモードでは、以下の2通りの取り付けかたができます。

お子さまの身長 100cm ~ 135cmまで		
お子さまの拘束方法	幼児ベルトを収納して、車両シートベルトで直接お子さまを拘束します。	
車両への固定方法	A	B
	コネクターと車両シートベルトで取り付けます。	お子さまを拘束している車両シートベルトを使用して車両座席に固定します。
変更のしかた	下記の1 ~ 8の手順で操作を行ってください。	
		コネクターを収納してください。

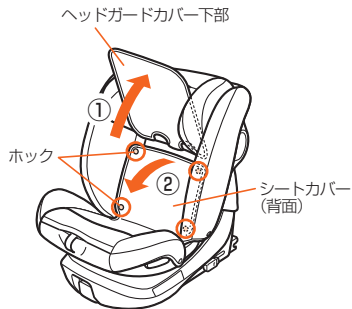
変更のしかた

- ①左右の幼児ベルトの両方を持ち、手前に引き、幼児ベルトが引けなくなるまで引き出す。(37ページ手順1参照)
②タンクをバックルから外し、肩ベルトカバーを取りはずす。
※ジュニアモードではインナークッションを使用しないでください。
- 2 サポートレッグを収納する。
①作業スペースを十分に確保し本体を横に寝かせ、サポートレッグを最短まで押し込み、折りたたむ。
②ベースにサポートレッグが「カチッ」と音がするまで押し込み、収納する。

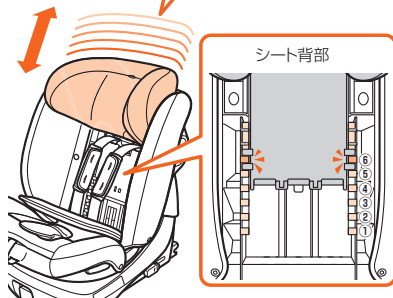
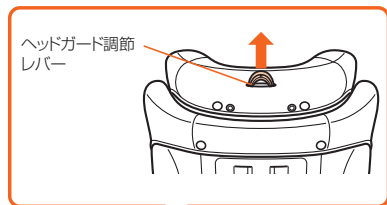


ジュニアモードでは、サポートレッグを必ず収納してください。

- 3** ①ヘッドガードカバー下部をめくり上げ、
②左右4カ所のシートカバー(背面)のホックを外し、手前に引いておく。

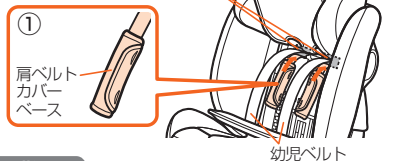


- 4** ヘッドガード調節レバーを引きながら、ヘッドガードを6段目まで引き上げる。

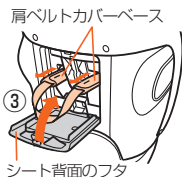
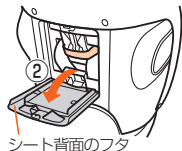


- 5** ①肩ベルトカバーベースを背面の穴に通るよう
に細く折りたたみ、
②シート背面のフタを開け、
③肩ベルトカバーベースを引き出し、シート背
面のフタを閉める。

肩ベルトカバーベース通し穴



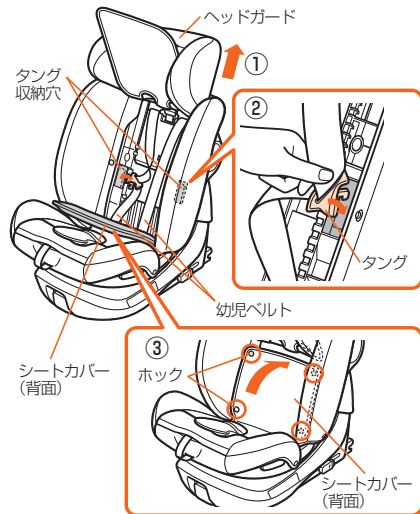
背面



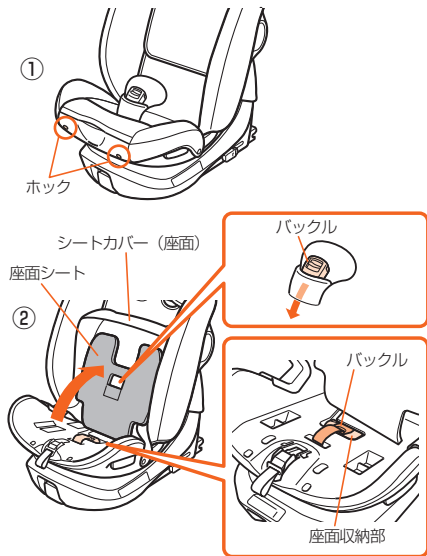
ワンポイント

ワンポイント 取りはずした肩ベルトカバー、肩ベルトカ
バーベースを大切に保管し、なくさないよ
うにしてください。
肩ベルトカバーベースのみシート背面に収
納することもできます。

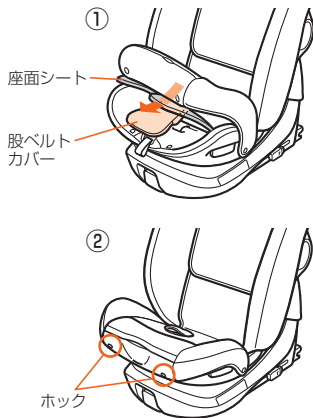
- 6** ①ヘッドガード調節レバーを引きながら、ヘッ
ドガードを最上段まで引き上げる。
②幼児ベルトをシートカバー（背面）の下に移
動させ、タングを本体背面のタング収納穴に
収納する。
③左右4カ所の座面カバーホックを取り付ける。



- 7** ①シートカバー（座面）の2カ所のホックをはずす。
②シートカバー（座面）と座面シートをめくりバックルを下に抜き座面収納部に収納する。



- 8** ①股ベルトカバーを座面シートの裏側に引き込む。
②シートカバー（座面）前面の2カ所のホックをとめる。

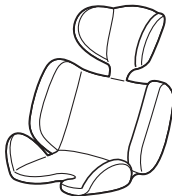


ジュニアモードへの変更のしかた

取りはずしたインナークッション、肩ベルトカバーを車内に放置しないでください。車内に転がり、運転のさまたげになる可能性があります。

(大切に保管し、なくさないようにしてください。)

●インナークッション



●肩ベルトカバー



- 肩ベルトカバーベース
(シート背面に収納可能です。
45 ページ参照)

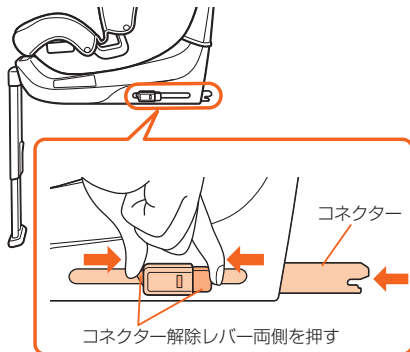


⚠注意

ジュニアモードの使いかた

車両への固定方法Bの変更のしかた

- 9 固定方法Bで使用する際は、左右のコネクターの収納を行う。本体側面のコネクター解除レバーを押しながら、左右のコネクターを止まるまで収納する。



取り付け準備



- 取扱説明書および本体表示の説明以外の方法で取り付けないでください。
- フロントエアバッグ装備の座席では、チャイルドシートを使用しないでください。衝突時、エアバッグの作動により大きな衝撃を受け、危険です。



車両シートベルトに傷がある場合は、その座席に取り付けしないでください。

チャイルドモードと同様の手順で取り付け準備をする。

(27ページ「チャイルドモードの使いかた／取り付け準備」参照)

車への取り付けかた

ジュニアモードでは、以下の2通りの取り付けかたができます。

お子さまの身長 100cm ~ 135cmまで		
お子さまの拘束方法	車両シートベルトで直接お子さまを拘束します。	
車両への固定方法	A	B
	コネクターと車両シートベルトで取り付けます。	お子さまを拘束している車両シートベルトを使用して車両座席に固定します。

- 1** ①車両ヘッドレストが取りはずせる場合は取りはずし、(27ページ手順2参照)
②車両背もたれがリクライニングできる場合は、できるだけすき間が小さくなるよう、リクライニング角度を調整してください。



- 2** サポートレッグを収納する。
(43ページ手順2参照)



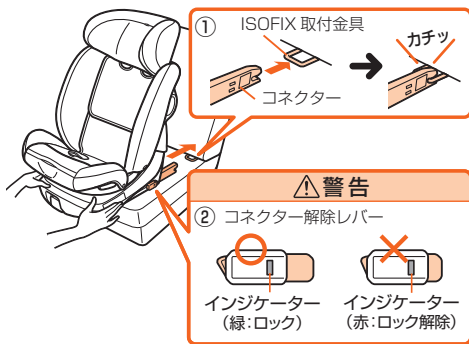
警告

- サポートレッグ操作時は、手、指などをはさまないように注意してください。思わぬ重傷を負う可能性があります。
- ジュニアモードでは、サポートレッグを必ず収納してください。

Aでの取り付け方

車両の取扱説明書でISOFIX取付金具の装備された座席と金具の位置を確認してください。

- ① 左右のコネクターを車両のISOFIX金具に「カチッ」と音がするまで差し込む。
- ② 左右のコネクター解除レバーのインジケーターが「緑色」になっていることを確認する。

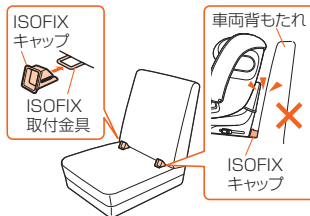


ポイント

ISOFIX 取付金具が車両シートにカクれて見えにくい場合は、付属のISOFIX キャップを使うことで、チャイルドシートを取り付けしやすくなります。ただし、車両シートによってはISOFIX キャップを取り付けると本体背面と車両背もたれのすき間が大きくなる場合があります。このような場合は、ISOFIX キャップを使用せずに取り付けてください。

取付方法

ISOFIX キャップの溝にISOFIX 取付金具がはまるように差し込む。



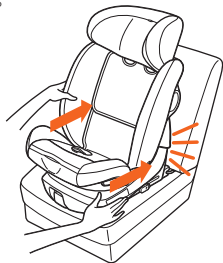
車への取り付けかた

2 ベース背面が車両背もたれに接するよう、左右片側ずつ調節する。

① ベース側面を持ち、ベース背面が車両背もたれに接し「カチッ」と音がするまで手で押し込む。

反対側も同様に押し込み、左右均等に車両背もたれに接するよう調節する。

② 再度コネクター解除レバーのインジケータが「緑色」になっていることを確認する。



ワンポイント



車両によっては、しっかり押し込んででもベース背面と車両背もたれとの間にすき間が生じる場合があります。車両背もたれがリクライニングできる場合はできるだけすき間が小さくなるよう、リクライニング角度を調節してください。

3 車両のシートベルトで固定する。

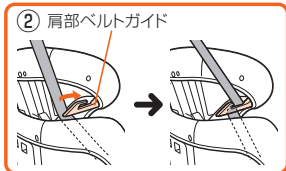
① 車両シートベルトを引き出す。

② 車両シートベルトを肩部ベルトガイドに通す。

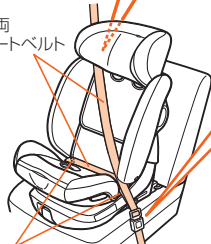
③ 車両シートベルトを左右の腰部ベルトガイドに通す。

④ 肩ベルトガイドに通した車両シートベルトを車両バックル側の腰部ベルトガイドに通す。

⑤ 「カチッ」と音がするまで差込金具を車両バックルに差し込む。



① 車両シートベルト



③ ④ 腰部ベルトガイド

※車からの取りはずしかたは34ページのチャイルドモードの取りはずしかたの手順1、2参照



コネクターを使用することで、車両シートベルトや車両バックルの取り付けの妨げになる場合は、コネクターを使用せず、車両シートベルトだけで取り付けてください。

Bでの取り付け方

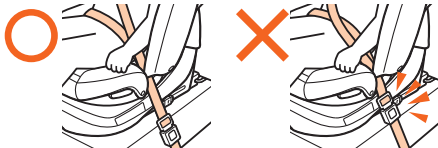
- 1 左右のコネクターを収納する。
(47ページ「車両への固定方法Bの変更のしかた」参照)
- 2 車両シートベルトで固定する。
(51ページ3の手順「車両シートベルトで固定する」参照)
※ISOFIXキャップが取り付けの妨げになる場合は、ISOFIXキャップをISOFIX取付金具からはずしてください。



急ブレーキや衝突時に乗員に当たるおそれがありますので、お子さまを座らせていないときでもチャイルドシートを固定してください。



- 車両バックルや差込金具が製品本体に当たり車両シートベルトにゆるみができると、取り付けが不安定になります。取り付けが不安定な状態では、使用しないでください。ご不明な点は当社コンシューマープラザへお問い合わせください。

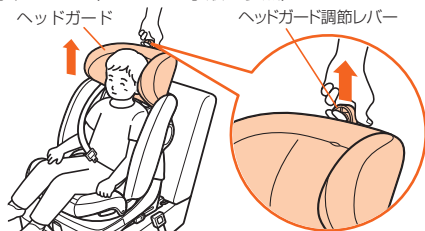


- 腰ベルトガイドへの車両シートベルトは正しく通してください。誤った通し方をすると本来の機能を果たさず危険です。正しい通し方をよく確認し、使用してください。



お子さまの座らせかた

- 1 差込金具を車両バックルからいったんはずし、お子さまを深く座らせ、ヘッドガードの高さをお子さまにあわせて調節します。(38ページ手順2参照)



ヘッドガード(肩部ベルトガイド)の高さの目安

肩部ベルトガイドの位置は、お子さまの肩の高さよりも、少し上にしてください。

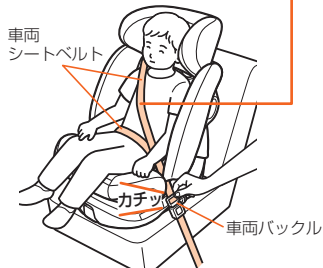


肩部ベルトガイドは、車両シートベルト(肩部)がお子さまの正しい肩の位置で締められるように調節するものです。お子さまが成長し、肩部ベルトガイドが低くなったときには、ヘッドガードの高さを調節し直してください。

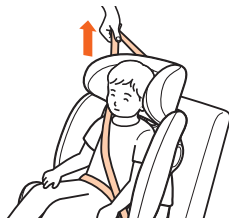
- 2 ①車両シートベルトを引き出す。
②車両シートベルトを肩部ベルトガイドに通す。
③車両シートベルトを左右の腰部ベルトガイドに通す。
④肩ベルトガイドに通した車両シートベルトを車両バックル側の腰部ベルトガイドに通す。
⑤「カチッ」と音がするまで差込金具を車両バックルに差し込む。



- 車両シートベルトにねじれやたるみがないこと。
- 車両シートベルト(腰部)は必ずお子さまの骨盤を押さええるようにすること。



3 車両シートベルトがたるんでいる場合は、車両シートベルト（肩部）を上へ引いて張り具合を調節する。



●ジュニアモードでは、車両シートベルトを締めていない状態では不安定です。保護者のかたの補助なしでお子さまが 1 人で乗り降りすると、車両座席からすれ落ちたり倒れたりするおそれがあります。必ず保護者のかたが乗せおろしをしてください。

●お子さまを下図のように座らせると、チャイルドシートが本来の機能を果たさず、危険です。

• のけぞる、前かがみになる。

• お子さまが、体を左右どちらかに傾けて座っている。

• 中腰・正座・立てひざなどをする。

●お子さまの腕は、必ず車両シートベルトの上になるようにしてください。



警告



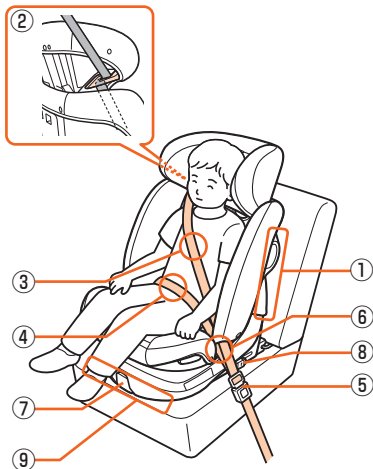
取り付け完了チェックのしかた

お子さまを座らせ、車両シートベルトを締めたら、次のことを確認してください。

車両への取り付け方法Aは①～⑨を確認

車両への取り付け方法Bは①～⑦を確認

- ① 車両座席の背もたれとチャイルドシートの間になすき間がないこと。
- ② 車両シートベルトが肩部ベルトガイドを通り、お子さまの首を圧迫していないこと。また、肩からはずれていないこと。
- ③ 車両シートベルトがお子さまの体に密着していて、ねじれやたるみがないこと。
- ④ 車両シートベルトがお子さまの骨盤を押さえていること。
- ⑤ 車両シートベルトの差込金具が車両バックルに確実に差し込まれており、はずれないこと。
- ⑥ 車両シートベルトが左右の腰部ベルトガイドを通っていること。
- ⑦ サポートレッグが収納されていること。
- ⑧ コネクター解除レバーのインジケーターがロック状態（緑色の表示が見える状態）になっていること。
- ⑨ ベース背面が左右均等に車両背もたれに接するよう調節し、進行方向に対してまっすぐになっていること。（コネクターが片側のみ極端に押し込まれていないこと。）



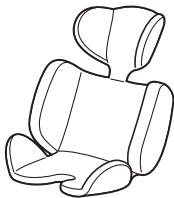
チャイルドモードへの戻しかた

「ジュニアモードへの変更のしかた」で取りはずした部品を準備してください。

チャイルドモードへの戻しかたは、(43ページから46ページ「ジュニアモードへの変更のしかた」の逆の手順を行ってください。)

- 「ジュニアモードへの変更のしかた」で取りはずしたインナークッション、肩ベルトカバーベース、肩ベルトカバーがすべて取り付けられているか確認してください。
- バックルが収納されていないことを確認してください。

●インナークッション



●肩ベルトカバー



●肩ベルトカバーベース
(シート背面に収納可能です。
45ページ参照)



⚠
注意

ジュニアモードの戻しかた

インナークッションの使いかた

お子さまの身長によって使いかたが異なります。

後向き（進行方向に対して後向きに取り付け）

使用する

使用しない

身長 40cm ~ 60cm 以下

身長 61cm 以上



※インナークッションは製品により仕様が異なる場合があります。
※製品の仕様は改善などのため、予告なく変更することがあります。



⚠ 警告

必ずインナークッションを正しく取り付けて、お子さまの体にフィットした状態で使用してください。



⚠ 危険

インナークッションは、誤った取り扱いをすると本来の機能を果たさず危険です。使いかたをよくお読みになり、正しく使用してください。

⚠ 注意

はずしたインナークッションを車内に放置しないでください。車内に転がり、運転のさまたげになる可能性があります。

前向き

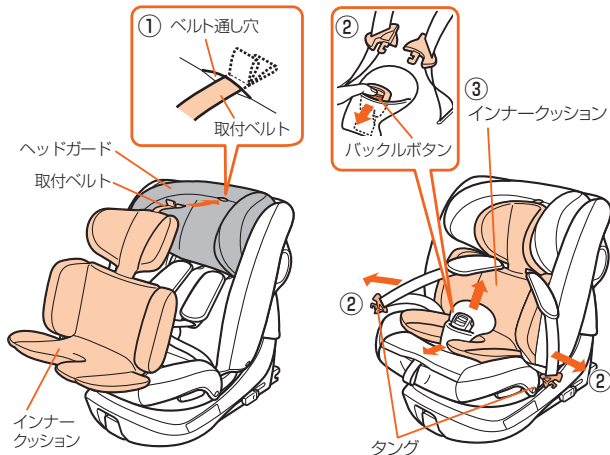
（進行方向に対して前向きに取り付け）

使用禁止



インナークッションの取りはずしと取り付け

- ①ヘッドガード上部のベルト通し穴にインナークッション取付ベルトの先端を合わせてしまう、または引き抜く。
- ②バックルボタンを押し、タングをはずす。
- ③インナークッションを取りはずし、または取付けをする。



注意

インナークッションを洗濯する際は、頭部、背面、座面のウレタンを全て外してください。

ベースカバーの使いかた

使用期間：「後向き」使用時

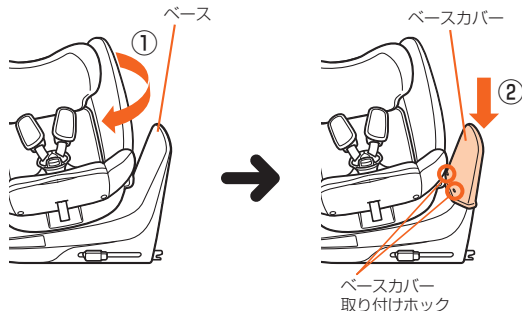
後向き使用の際、ベースカバーを使用し足を保護してください。

※ベースカバーを取り付けてから、チャイルドシートを車両座席に取り付けてください。



ベースカバーを取り付ける。

- ①シートを回転させ横向きにする。
- ②ベースカバーをベースにかぶせ、下部にあるベースカバー取り付けホック(2カ所)で取り付ける。



お手入れ・その他



警告

「後向き」使用時は、必ずベースカバーを使用してください。



注意

ベースカバーを取り付けない状態でベースを素足で蹴ったりこすったりすると、足にすり傷ができる場合があります。

ワンポイント

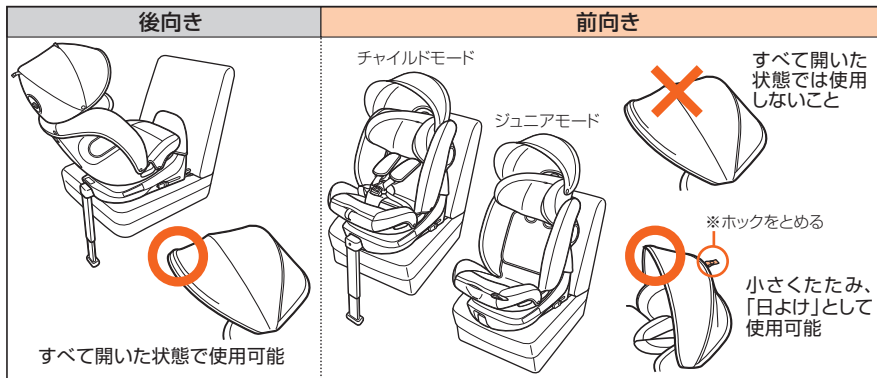


「前向き」、「ジュニアモード」使用時にもお使いいただけます。

幌の使いかた



シートの向きによって使いかたが異なります。 ※取りはずした状態でも使用できます。



- 幌は、誤った取り扱いをすると、事故などの衝突時にお子さまに接触するおそれがあり危険です。使いかたをよくお読みになり、正しく使用してください。
- 「前向き」使用時は幌は小さくたたんで使用するか、取りはずしてください。



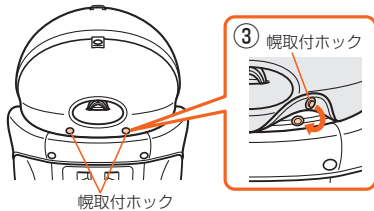
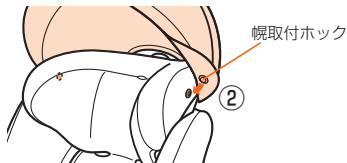
- チャイルドシートを持ち運びするときは、幌を持たないでください。製品が破損する原因となります。
- 幌に、おもちゃやサンシェードなどを取り付けて使用しないでください。急ブレーキや衝突時にお子さまにあたるおそれがあります。

- ※ 幌は製品により、仕様が異なる場合があります。
- ※ 製品の仕様は改善などのため、予告なく変更することがあります。
- ※ 幌が車の内装に干渉する場合は、幌を使用しないでください。

幌の使いかた

幌の取り付けかた

- ① 幌取付ホックが見えるまで、ヘッドガードを引上げる。(38ページ手順2参照)
- ② ヘッドガード側面左右(2カ所)の幌取付ホックをとめる。
- ③ 幌背面の左右の幌取付ホック(2カ所)を、ヘッドガードカバーの幌取付ホックに取り付ける。



2 幌がしっかり固定されており、ヘッドガード側面左右(2カ所)と幌背面の左右の幌取付ホック(2カ所)がヘッドガードカバーに取り付けられていることを確認する。

3 取りはずす際は、幌取付ホックをすべてはずしてください。



全ての幌取付ホックをヘッドレストカバーに必ず取り付けてください。ホックが外れた状態では絶対に使用しないでください



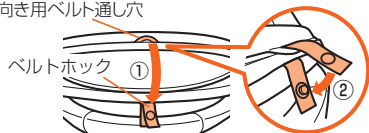
幌を開いたり小さくたたんだりするときは、お子さまや周囲の人にも気をつけて、指や手などをはさまないように注意してください。

「前向き」使用時は、幌は、小さくたたみ幌上部の
フックをとめて「日よけ」として使用できます。

前向きで使用するとき(日よけとして使う)

- ①幌を小さなサイズにたたみ
- ②幌上部にあるベルトフックを前向き用ベルト通し穴に通しフックでとめる。

前向き用ベルト通し穴



- 幌は誤った取り扱いをすると、事故などの衝突時にお子さまに接触する場合があります危険です。
- 「前向き」使用時は幌は小さくたたんで幌上部のフックを閉じて「日よけ」として使用するか、ヘッドガードから取りはずしてください。

■前向き使用時



※フックをとめる

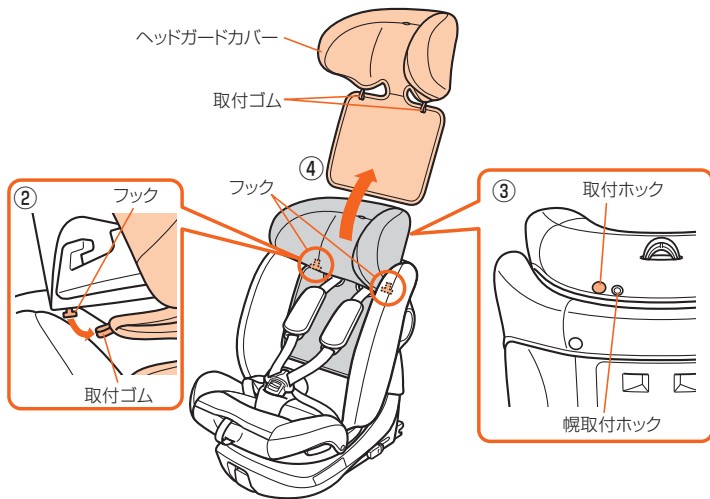
警告

お手入れ・その他

カバーの取りはずしかた・取り付けかた

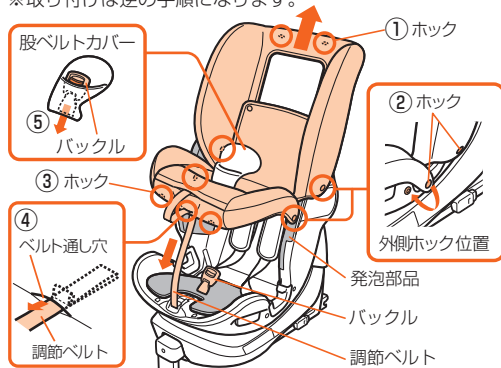
ヘッドガードカバーの取りはずしと取り付け

- ①ヘッドガードを最上段まで引き上げる。(ヘッドガードの操作は38ページ手順2参照)
 - ②ヘッドガードカバーの取付ゴム(左右各1カ所)をはずす。
 - ③ヘッドガードカバー裏の左右の取付ホックを取りはずす。
 - ④ヘッドガードカバーを手前に引き出し取りはずす。
- ※取り付けは逆の手順になります。



シートカバーの取りはずしと取り付け

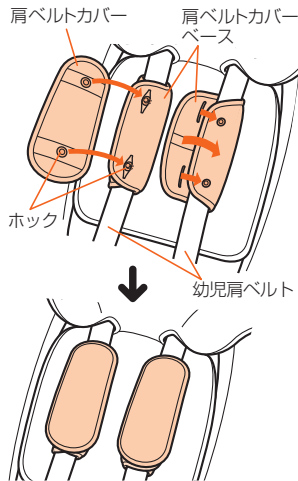
- ①シートカバー背面の左右のフック(2カ所)をはずす。
 - ②シートカバーの外側フック(4カ所)をはずす。
 - ③シートカバー(座面)前面の左右のフック(2カ所)をはずす。
 - ④ベルト通し穴から調節ベルトの先端を引き抜く。
 - ⑤バックルを股ベルトカバーから引き抜き、シートカバーを引き上げ取りはずす。
- ※取り付けは逆の手順になります。



カバー類を着脱する際は、本体に取り付けられている発泡部品を破損しないよう注意してください。

肩ベルトカバーの取りはずしと取り付け

幼児肩ベルトに肩ベルトカバーベースを巻き付け、肩ベルトカバーフック(2カ所)の取りはずし、または取り付けをする。



※カバーは製品により、仕様が異なる場合があります。
 ※製品の仕様は改善などのため、予告なく変更することがあります。

お手入れのしかた

シートカバーなど縫製品の洗いかた

洗濯時は次のことを守ってください。

- シートカバーに縫製されている洗濯ラベルに従い洗濯してください。
- 洗濯機をご使用の際は、ほつれや傷みの原因となるので洗濯用ネットに入れて洗濯してください。
- 水、またはぬるま湯で洗濯機の弱水流または手洗いしてください。
- 漂白剤は使用しないでください。
- 洗濯の際は中性洗剤をおすすめします。蛍光剤・漂白剤入りの洗剤は肌荒れ、湿疹などのおそれがありますので使用しないでください。
- 横型洗濯機（洗濯槽が横、または斜めを向いている）をご使用の場合は、水量が少なくなりすぎないように注意してください。
- 製品の特性上、色あせすることがあります。
- 洗濯の際は、他の衣料品や色の薄いものと区別されることをおすすめします。
- 十分にすすぎ、軽く脱水した後、形を整えて陰干ししてください。
- アイロン掛けはしないでください。
- 乾燥機の使用やドライクリーニングはできません。
- インナークッションを洗濯するときは、頭部、背面、座面に入っているウレタンを取りはずしてください。
- カバー類を洗濯する際はシートカバー（背面）ポケット内部のプラスチックシートを取り外してください。

幌のお手入れのしかた

- 幌は液中につけず、洗剤を入れた水、またはぬるま湯をつけたスポンジなどを使用して、汚れをふき取ってください。
- 洗剤を使用して汚れを取った後は、水分を含ませた布やスポンジで洗剤分が残らないように数回ふき取ってください。
- 乾かすときは、乾いた布で水分をふき取り、陰干ししてください。
- 製品の特性上、若干色あせすることがあります。

本体、幼児ベルトのお手入れのしかた

通常は固くしぼった布で水ぶきしてください。汚れがひどい場合は、中性洗剤を水で薄めた液で汚れを落としてから水ぶきし、日陰で乾燥させてください。

ウレタンについて

シートカバーなどの縫製品の裏側のウレタンに染料が付着することがありますが、品質上問題なく、安心してお使いいただけます。座面シートおよび取りはずしたウレタンは洗濯できません。



中性洗剤を原液で使用したり、ガソリン、ベンジンなど有機溶剤の使用はおやめください。本体および幼児ベルトをいためるおそれがあり危険です。

保管・廃棄のしかた

保管のしかた

本体

長期間使用しないときは、車から降ろし、直射日光が当たらず風通しの良い、お子さまの手の届かない場所に保管してください。

取扱説明書

ご使用前に必ず本書を読み、十分ご理解の上、シートシート背面のフタ内側にある取扱説明書収納ポケットに保管してください。(6ページ参照)

廃棄のしかた

- お住まいの各自治体の規程に従い処分、廃棄してください。
- 衝突事故や製品を落下させたときなど、1度でも強い衝撃を受けたチャイルドシートは、外見上の破損がなくても絶対に使用しないでください。事故により処分する場合は、本製品が再利用されないようにシートカバーなどをはずして、廃棄してください。

製品を正しく安全にお使いいただくために

製品を正しく安全にお使いいただくための情報を、当社ホームページでご案内しております。

下記のホームページをご覧ください。

www.combi.co.jp/soudan/after/safetyinfo.html

『標準使用期間』について

本製品の『標準使用期間』は「新規購入後10年」です。

標準使用期間を経過した場合、部品の経年劣化により、本来の性能を果たせず危険を招くおそれがあります。

不測の事態に備えてご使用をお控えください。

- 新規購入日を記録するために、販売店発行のレシート(領収書)と取扱説明書を必ず保管してください。
- 標準使用期間内においても、使用方法や環境、保管条件により故障する場合があります、この期間の品質を保証するものではありません。品質保証書に記載している「お買い上げ日より1年間」の保証期間を過ぎた場合の修理は有償となります。
- 標準使用期間を過ぎた製品の修理は、製品全体の安全性の観点からお引き受けできません。
- 使用履歴が不明な製品の再利用はお控えください。

品質保証書 コンビ チャイルドシート

本書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

お買い上げの日から下記期間中製品の故障が発生した場合は、本書をご提示の上、当社コンシューマーブラザ、または、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

製品名	保証期間
ロットNo. (シート背面のフタ内側をご覧ください)	お買い上げ日より1年間 (ただし保証規定による)
お客様 お名前	お買い上げ日 年 月 日
ご住所 〒	TEL
販売店 店名	TEL
住所	

修理メモ

保証規定

- 1度ご使用になった製品は、原則としてお取り替えできません。
 - 保証期間内(お買い上げ日より1年間)に正常な使用状態において、万一故障した場合には無料で修理いたします。電話にてお問い合わせの上、当社コンシューマーブラザにお送りください。
 - 保証期間内で次のようなものは有料修理になります。
 - (a) プラスチック部品の自然劣化による変色。
 - (b) シートカバーなど、縫製部品の傷ややぶれ。
 - (c) お客様の誤使用、または改造や不当な修理による故障および損傷。
 - (d) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変による故障および損傷。
 - (e) 本書に製品名、お買い上げ日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - (f) 本書のご提示がない場合。
 - (g) 一般家庭以外で、業務用やレンタル等でご使用され故障した場合。
 - (h) 有料修理の場合に要する運賃などの諸経費。
 4. 衝突事故など、1度でも強い衝撃を受けた製品の修理はできません。
 5. 本書は日本国内においてのみ有効です。海外からの修理サービスは致しかねます。
 6. 製造中止後の製品については必要部品の在庫がなくなった場合、修理できないこともあります。
- お買い上げ後、製品名、お買い上げ日、お客様名、販売店名をただちに記入願います。
 - 万一故障が生じた場合は保証書をご提示ください。本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
 - 領収書(レシート)を本書と一緒に保管してください。
 - この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、当社コンシューマーブラザ、またはお買い上げの販売店にお問い合わせください。
 - 品質保証書にご記入いただいた個人情報は、故障・修理の確認、修理品の発送にのみ利用いたします。それ以外の用途には利用いたしません。

Combi

コンビ
クルム—ヴ
ロング シリーズ

コンビ株式会社

- ホームページ
- オンラインストア(部品購入窓口)

combi.co.jp
combi.co.jp/store

製品・部品に関するお問い合わせ、修理などのご相談は、コンシューマープラザにて対応いたします。

コンシューマープラザ (Customer Service Center)

受付時間：9:30～17:00 (土日祝日、年末年始を除く)

〒339-0025 埼玉県さいたま市岩槻区約上新田271

TEL. (048) 797-1000 FAX. (048) 798-6109

コンシューマープラザ (Customer Service Center) /西日本担当

受付時間：10:00～17:00 (土日祝日、年末年始を除く)

〒540-0026 大阪府大阪市中央区内本町2-4-16

TEL. (06) 6942-0379 FAX. (06) 6942-0302

*コンシューマープラザホームページ combi.co.jp/soudan

193636050 24.6

仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。